

平成26年度第4回 鹿児島市清掃事業審議会 概要

1 開催日時

平成27年3月18日(水) 10:30～11:30

2 開催場所

かごしま市民福祉プラザ5階中会議室

3 出席者

(1) 委員(14名)

赤崎委員(副会長)、赤星委員、有馬委員、井上委員(会長)、内委員、榎本委員、大前委員、鬼塚委員、小松委員、瀬戸山委員、藤安委員、三原委員、向段委員、吉見委員

(2) 事務局(9名)

環境局長、清掃部長、リサイクル推進課長、廃棄物指導課長、清掃事務所長、北部清掃工場長、南部清掃工場長、リサイクル推進課庶務係長、同課ごみ減量係長

4 次第

(1) 審議事項

① 今後のごみ減量施策の提言(案)

【参考資料】

「提言(案)に至るまでの経緯」

「提言(素案)に対する意見概要」

(2) その他

5 報告事項及び審議事項の概要

(1) 審議事項

① 今後のごみ減量施策の提言(案)

【参考資料】

「提言(案)に至るまでの経緯」

「提言(素案)に対する意見概要」

発言者	発言内容
委員	資料(資料「審議事項①」)3ページの「2 今後の方向性」の6行目に、「地球環境にやさしいまちづくり」の表現があるが、私としては「持続可能なまちづくり」が良いかと思う。「地球環境にやさしいまちづくり」となると、人間の主体性とかが、表現しにくくなり、環境を守るということに主眼が置かれてしまう。ここは文言の検討が必要であると感じた。

発言者	発言内容
委員	<p>人間の営みを中心に考えることは重要であるが、我々、人間がすべてを支配するというわけではないので、「地球環境にやさしい」の言葉は残すこととし、我々人類は宇宙船地球号の一員として、「持続する」という意味合いも込めて、「地球環境にやさしく持続可能なまちづくりを進めていくことが求められている」という表現は如何か。</p> <p>(文言の修正について、了承を得る。)</p>
委員	<p>資料(資料「審議事項①」)5ページの「4 有料化以外のごみ減量施策について」の「(1)広報・啓発」とあり、これは素晴らしい事かと思うが、この箇所の文章を読むと、3Rはリユース、リデュース、リサイクルから成っており、ここの文章は、リユースとリサイクルのことしか書かれていないような印象を持ち、分別という事が前面に出ている。分別の前に、リデュースというごみそのものを発生抑制するという啓発も大事ではないかと感じる。もう少し、踏み込んでもいいのではないかと印象を受けた。</p>
委員	<p>当然、3Rの事は念頭に入っている。ごみ減量の効果だが、特に、ごみの有料化は、市民の負担に大きく関わる事なので、ごみ減量のなかで、具体的に示す使命がある大きな一つと考える。ごくあたり前のことであるが、ごみ減量の具体例や減量効果などについて、情報提供をする必要があり、そのような思いを込めて、(資料「審議事項①」5ページの)「(1) 広報・啓発」を提言に盛り込んだ。</p>
委員	<p>資料(資料「審議事項①」)4ページの「3 有料化によるごみ減量施策について」の「(2) 仕組み」についての箇所で、ごみ出しにかかわる市民サービスの向上に手数料を充てるとあるが、ここは気になるところである。手数料収入が、どの程度の規模であるか。また、手数料収入の全てを、そこに充てるという表現にするのか。或いは、ターゲットに充て、焦点はそこにあると表現するのか。</p>
委員	<p>いまのところを具体的に、影響も含めて違うところを説明していただきたい。</p>
委員	<p>例えば、有料化によって収入が得られ、その収入を全て、ごみ出しに関わる分に充てると書くのか。或いは、処分場の整備に充てる可能性もあるし、ごみに関わる全てのものに充てると書くのか。私は、後者の方がいいのかと思う。</p>

発言者	発言内容
事務局	<p>有料化が決まっていないので、どの程度の収入になるのか言えないが、他都市をみても、今の大前委員の意見のとおり、ごみ収集のみではなく、清掃業務に関わるものに充てている例もあるので、「市民サービスの向上」の後に「等」を追記することで解決するかと思うが、委員の皆さんの意見を聞きたい。</p>
委員	<p>ただ今、事務局から「等」を追記するとの案がでたが、私としては、今の事務局の案で良いかと思う。提言書の文言にある「市民サービスの向上」は、ターゲットでメインになるかと思う。ごみ処理に係る費用は、基本的に税金で賄われている。ごみの有料化によって、収入を得る形になるが、この収入でごみ処理の運営を賄えるとは思っておらず、今後のごみの減量化を進める新しい視点として、ごみの有料化をやらざるを得ない状況になってきたことから、有料化の話が出てきたのである。ごみに関わるものに、有料化による収入を充てることも考えられるが、一方で、ごみに関わるもの以外に、収入を充てることも考えられるので、「等」と記載した方が、柔軟性を持たせる事が出来るかと思う。それでは、提言を「市民サービスの向上等に充てるもの」に修正でよろしいでしょうか。</p> <p>(文言の修正について、了承を得る。)</p>
委員	<p>資料(資料「審議事項①」)4ページの「(3)市民の合意形成」のところで、下から2行目「過剰包装を可能な限り控えるなど事業者への協力要請もあわせて行う」とあるが、事業者からの反対は、考えられないか。また、市民が何かしら協力するという意味か。</p>
委員	<p>市民も、なるべくマイバッグを持参し、過剰包装を避けるよう提言に記しているが、ここで言いたいのは、事業者も積極的に過剰包装に対して、対策をとってください、という意味である。市民にだけ、ごみの減量化の義務を負わせるのではなく、あえて、事業者にも負っていただくという事である。</p>
委員	<p>提言の内容に関しては、委員の意見が網羅されていると思う。本日の議題とずれるが、この提言が、今後どのように生かされていくのか、また、これまで、課題や問題が挙げられ、この場で色々と述べてきた。これらの課題に対して、どのように考えていくかが、求められていると思うし、それを、どのような場で、進めていくのかが心配である。</p>
委員	<p>このことは、事務局から答えていただきたい。</p>

発言者	発言内容
事務局	<p>審議会として市長に提言していただくが、この提言の扱いについては、本日の議事の最後に「(2) その他」があるので、そこで、皆さんへ具体的に説明する。</p>
委員	<p>本日は、色々な意見があり、有難うございます。2箇所の文言の訂正を含めて、承認をお願いしたい。</p> <p>一つは、(資料「審議事項①」) 3ページの「2 今後の方向性」にある箇所で、「私たちはごみの減量化・資源化に取り組み、次の世代の負担を軽減し、資源が循環する地球環境にやさしく持続可能なまちづくりを進めていくことが求められている。」に訂正させていただきたい。</p> <p>次のもう1点は、(資料「審議事項①」) 4ページの「(2) 仕組み」のところだが、「ごみ出しにかかわる市民サービスの向上」のあとに「等」を加えるよう修正していただきたいと思う。</p> <p>以上でよろしいか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
委員	<p>今の2箇所の修正を加えたうえで、今後のごみ減量施策についての案を当審議会としては承認するという事でよろしいか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
委員	<p>有難うございます。今の修正を加えたうえで、赤崎委員と二人で市長へ提言する。</p> <p>それでは、議事の「(2) その他」について、事務局にお願いします。</p>

(2) その他

発言者	発言内容
委員	<p>(追加の資料の配付)</p> <p>それでは、お願いします。</p>
事務局	<p>審議会の委員の皆さんへお礼を申し上げます。委員の皆さんにおかれては、本市の今後のごみ減量施策について、それぞれの立場から精力的に審議いただき、提言書としてとりまとめていただいたことに対し、敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げます。今後については、</p>

発言者	発言内容
委員	<p>先ほどもあったように、23日に市長に対し、井上会長から正式に提言書が提出されることになっているので、私どもとしては、その提言内容を真摯に受け止め、尊重しながら各面から総合的に検討し、市としての「ごみ減量施策の基本的方向性」を見極めていくこととしている。特に、今回の提言は、大きな2つの柱で構成されており、その柱の一つとして示されている「家庭ごみの有料化」については、今後の本市の清掃行政の新たな施策の転換に繋がる重要なテーマであり、現在開催中の3月議会本会議や先週開催された市議会環境文教委員会においても、活発な論議が交わされ、徐々に議会、市民の関心も高まってきつつあると考える。このようなことから、新年度になったら、方針作成に向け、早速、準備を進め、市としての基本的な方針が決まったら、改めて当清掃事業審議会に諮問し、審議のうえ答申いただくことになろうかと考えている。また、直接、このごみ減量施策ではないが、私どもにおいては、関連する取り組みとして、先ほども若干、触れたが、新南部清掃工場の建替えに加えて、生ごみやし尿汚泥からバイオガスを作り、都市ガスとして市内の各世帯に供給する地産地消の再生可能エネルギーの導入の推進についても、基本計画をとりまとめところであり、来年度は基本設計に入る等、新たな取り組みについても、本格的に進めることとしている。</p> <p>委員の皆さんには、来年度の清掃事業審議会においても、本市の環境行政の更なる充実・発展のため、引き続き、各面から支援、協力をお願い申し上げます。どうか今後ともよろしく指導いただくことをお願い申し上げ、私からのお礼のあいさつとさせていただきます。この1年間、誠に、有難うございました。</p> <p>今、配った資料は、本会議でも、色々と質疑を受け、更に、先週の木曜の所管の委員会で、ごみ有料化について、色々と聞かれ、最終的に、委員から、今後、市として、ごみの有料化はどうしていくのか、また、今後のスケジュールを考えているのかに対して、私が述べた答弁である。答弁をする時点では、提言を貰う前であったので、この追加の資料に書いてあるとおり、一般論として答弁したが、有識者から示された市に対する施策の提言というのは、基本的には尊重していくものであり、それを踏まえて、色々と取り組みを進めていくことの、一般的な考えで、今回についても同様に考えているという趣旨で、述べたものである。</p> <p>基本的に今回は、提言であり、その後は、諮問、答申になり、流れは理解した。いつも、細かい事が気になるが、市民の皆さんへ、どのような形で伝えていくか。今一番、感じているのは、分別が非常に大事であるということが言われている。分別した物がどの様になっている</p>

発言者	発言内容
委員	<p>か、また、今後、分別をどのように進めるべきなのか。大まかな、全体像が見えないと、分別が大事と言われても、中々、分別は進まないかと思う。大崎町の分別が、日本一と言われているが、その分別がどの様に生かされているかも見えてこない。市民に対して、分別の全体が分かるものとして、広報や啓発の仕方が重要で、その中で、私たちの役割は、何なのかを自覚すべきであると思う。私の仕事柄、住民と接しているが、こちらの伝えたい側が、思っていることと、住民との間に距離があるので、ごく当たり前のことだが、住民の立場に立って、伝えていくことが大切なことであると思う。</p> <p>ただ今の環境局長の挨拶は、意を強く思った。私は、提言の中に、減量化・資源化を併記したのは、大事であると言ってきた。審議会の議論は、ごみを減量する為に、ごみを有料化することで、ごみが減量の方向へ変わっていくであろうということが、メインのテーマであった。先ほどの環境局長の話の中で、バイオガス施設の資源化のことに触れたが、バイオガスを使って、資源化していく。これを発電に向けて転換するところまでいけば、清掃事業に使うエネルギーは、全て、資源化されたものから得られる。そのことが、スケジュールとして進められていることは、環境局長の意を強く思った。更に、資源化を進めて欲しい。</p>
事務局	<p>今、本市が考えているのは、バイオマスの発電ではなく、バイオガスを作ることである。南部清掃工場の近隣にある都市ガスの供給基地につないで、通常天然ガスに南部清掃工場で作ったガスを混ぜて、都市ガスとして各家庭へ供給する予定である。南部清掃工場の建替え費用とバイオガス施設の費用を合せると、総額およそ164億円である。また、同施設は平成33年度の稼働を予定しており、来年度については、基本設計、地盤調査等を実施する予定である。先ほど、会長の意見にもあったように、先例的には少ないが、本市としては、これまで、様々な研究を重ね、実用化に向けての目途がたったことから、今後、更に進めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>今のような話の情報も盛り込みながら、市民に広報していく。出来たら、バイオガスの工場を、市民が見学出来る仕組みに、作って欲しいと思う。</p> <p>他にないか。それでは、以上をもって、議事を終了する。</p>